



アメリカ研修 2014年3月10日から21日

長崎大学経済学部国際ビジネス教育研究センター

カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校での研修に経済学部から学部生11人が参加しました。デジ・トム、工藤健（経済学部）の2人の教員が引率しました。ビジネススクールを中心とした経営学や経済学関連の授業のほか、企業訪問、学生交流を含む実りある研修でした。

「企業の社会的責任（CSR）」に関する授業では、事前に膨大なテキストやケースを予習してくることを求められ、とても大変でしたが、映像資料やケーススタディを組み合わせた多様な教材を使った授業方法で、非常にわかりやすくCSRについて知識を深めることができました。「日米の企業文化比較」の授業では、国際ビジネスを進めるうえで、各国の文化的背景の違いが重要な意味を持つということが強調されていました。

研修中にCSRを重視するいくつかの現地企業を訪問しました。トヨタのグローバルサプライチェーンの一翼を担う「トヨタ北米部品センター」では、休憩所の紙コップも含め、大規模にリサイクルを実施するなど資源や環境に配慮した経営の一端を見ることができました。ほかにも、太陽光発電システムの普及を担う「ソーラーマックス・テクノロジー」などの企業を見学することができました。いずれの企業でも、従業員が比較的自由的なスタイルで働いていたのが印象的でした。

修了証授与式では、カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校の経営・行政官理学部の学部長だけでなく学長も出席し、自らの手でひとりひとりに修了証を渡してくれました。そのほか、交流イベントで知り合った現地の学生が遊びに誘ってくれたり、ホテルまで遊びに来てくれるなど、楽しい時を過ごしました。



写真 Coates 教授による企業の社会的責任の授業

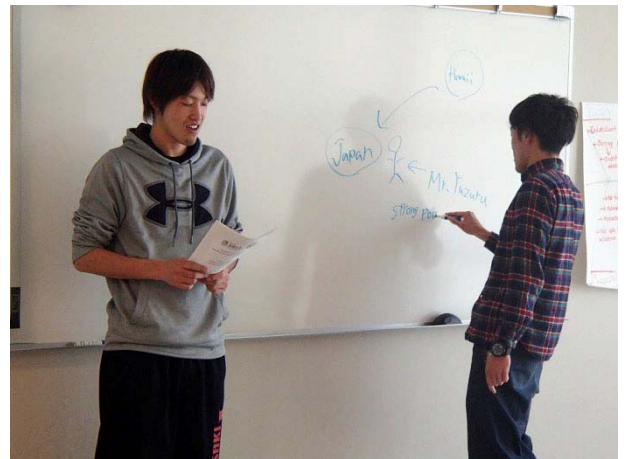


写真 授業中の発表の様子



写真 企業訪問「ソーラーマックス・テクノロジー」

参加学生の感想

今回のプログラムは、私にとって、いろんな経験をすることができて、本当に貴重で充実した留学になった。今まで私は英語に本当に自信がなく、積極的に話しかけることも苦手だった。しかし、実際に行って交流してみると、やはり、まだまだリスニング力やスピーキング力が足りないと感じる部分もあったが、想像以上に自分の力を試すことが出来たし、それが相手に伝わるととてもうれしかったし、自信につながった。また、自ら話しかけて友達を作ることもできた。そういう面は特にこの研修に参加してよかったと強く思える部分である。

金銭的に難しい部分もあるかと思うが、可能であれば、長期の海外留学も体験してみたいと思った。



写真 学長による修了証授与



写真 交流イベントの様子

【研修日程】

	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
午前	授業 「企業の社会的責任」	授業 「日米の企業文化」	企業訪問 「トヨタ北アメリカ」	授業 「米国の多国籍企業」	市内散策
午後	キャンパスツアー 市内散策 学生交流	企業訪問 「ガーナー・ホルト・プロダクション」	市内散策 学生交流	授業 「米国の高等教育」 「グローバル経済」	企業訪問 「モロンゴ・カジノ」 (先住民居留地)

	16日(日)	17日(月)	18日(火)	19日(水)
午前	ロサンゼルス市訪問	企業訪問 「ソーラーマックス・テクノロジー」	授業 「フリーライティング・メソッド」	アナハイム市内散策
午後	ロサンゼルス市訪問	授業 「異文化ショック」 修了証授与式	アナハイム市訪問	アナハイム市内から ロサンゼルス空港へ



写真 遊びに行ったボウリング場で



写真 修了証授与式後の記念撮影